

未来を語るトークスペース 実施報告書

成田市企画政策課

平成27年3月29日(日曜)



実施概要

タイトル	「成田市×子育て世代 未来を語るトークスペース」
主催	成田市企画政策課 地方分権推進事業
協力	特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会【FAJ】
開催日時	平成27年3月29日(日)13:00-16:00
場所	もりんぴあこうづ 2階D会議室 (受付は2階ギャラリー、託児はE会議室)
定員	30名
申込者数	14名 (男性5名、女性9名) ※託児7名、赤ちゃん同席1名
ファシリテーター	3名 (浦山絵里、尾上昌毅、飯島邦子) 記録(尾上昌毅)
スタッフ	6名 (宮田課長、木下課長補佐、金光係長、窪田、成毛、石橋) ※課長と補佐は午前から昼にかけて別の行事に出席の為、途中から出席。
企画目的	市民の市政への関心を高める、市民意識の醸成
参加者のゴールイメージ	楽しく話せた／今後市ホームページや広報なりたを見てみようと思える／これからこういう機会があれば参加してみようという気持ちになる／批判や要望だけでなく一緒に考えてみようと思える／

タイムスケジュール

13:00	開会のあいさつ	【5分】
13:05	オリエンテーション	【5分】
13:10	参加者どうして知り合う	【10分】
13:20	私と市役所(市政)との関わり合い	【25分】
13:45	成田市の概要を知る	【30分】
14:15	(15分間の休憩)	
14:30	これから話し合うテーマ出し とグループ分け	【15分】
14:45	対話	【35分】
15:20	共有	【10分】
15:30	ふりかえり	【25分】
15:55	閉会の挨拶	【5分】
16:00	終了	

OSTの
手法

ワーク1 私と市政の関わり

①「私と市役所の距離感」を
ひもで表現しよう



遊び感覚で
場を和ませ
ます

その長さの意味
を説明。
「実はNAA勤務
なので市役所は
身近です」



②実際にどんな関わりがある
のか思い出そう【ブレスト】



市政のいろん
な役割が浮か
びあがります



ワーク2 市政を知る（1）

（説明） 成田市企画政策課 （板書き）ファシリテーターの飯島さん

[成田市の概要、強み・弱み、現在力を入れている施策のピックアップ紹介]

8. 力を入れている施策

（1）子育て環境を整える

①子ども医療費助成



0才～中学3年生までの子供の医療費について、自己負担分の一部を助成する制度です。

②子ども館・なかよしひろば



子どもたちが自由に遊べる場の提供、子育てについての相談・保護者交流などを目的に設置した施設です。

③子育て応援サイト（27年度） **NEW!**

Coming Soon

子育てに関する行政情報をはじめ、民間のサービスや地域情報を必要な時に手軽に入手できる地域ポータルサイトとして運営する。

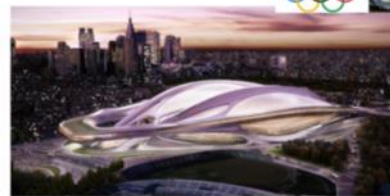
15

（2）2020年 東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けたスポーツツーリズムの推進



世界陸上
2015 北京
すべてが“つながる”
瞬間がある

8月22日(日土)開幕



RUGBY
WORLD CUP
2019

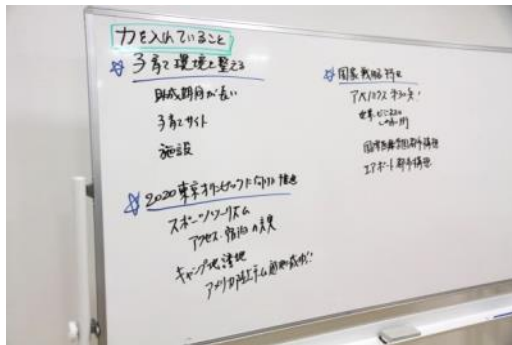
→ 2015年夏 アメリカ陸上選手団の合宿候補地へ

16

ワーク2 市政を知る（2）

（説明）成田市企画政策課 （板書き）ファシリテーターの飯島さん

[成田市の概要、強み・弱み、現在力を入れている施策のピックアップ紹介]



説明者の言葉を聞いて、その概要がホワイトボードに書かれていく。（言葉を目で確認することで、参加者の共通認識になっていく。書かれた言葉を指して話を整理したりできるメリットがある。）



話を聞いてどう感じたか各テーブルで話す。疑問に思ったことを質問&回答タイム。（あとから疑問が不満になってふき出さないように事前にガス抜き）

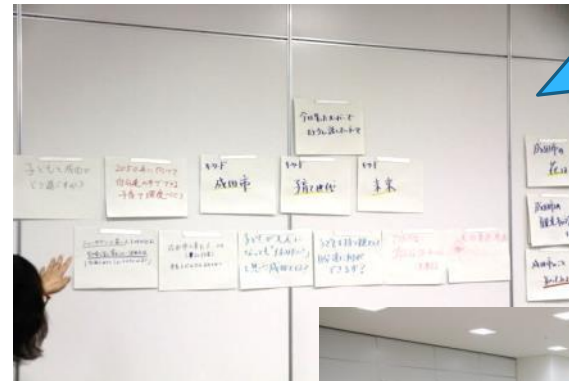
ワーク3 OST的な対話 (1)

★人から与えられたテーマだとイマイチピンとこないけれど、自分で考えた、「自分がこの人たちと話したい」と思って言葉にしたテーマだから、真剣に話し合えます

①話したいテーマを考える



②テーマを自分で選ぶ



各グループが何人になってもOKです。(純粋にテーマに人が集まる方法)

このテーマについて話したい！
というご自分の
想いで手にとっ
てください。



ワーク3 OST的な対話（2） （各グループで話し合い）

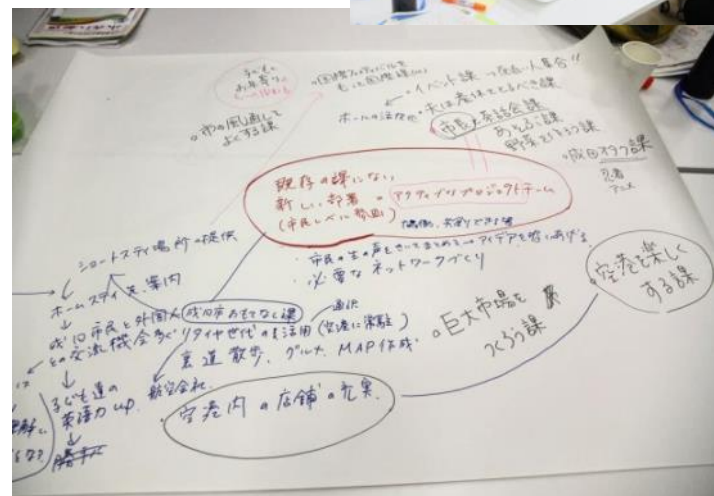
【チーム1】《子供と成田でどう過ごす？》



【チーム2】《働く夫の育児参画》

《成田市へ来た人への市民レベルのおもてなし》

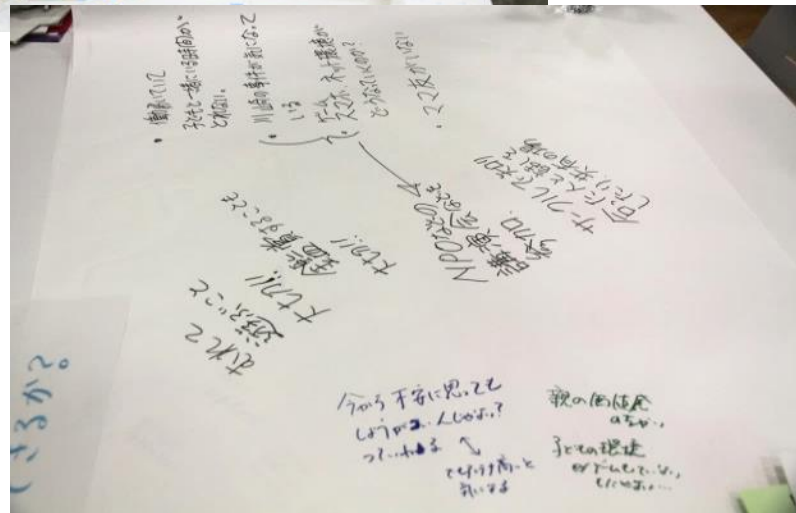
《アクティブなプロジェクトチームをつくる》



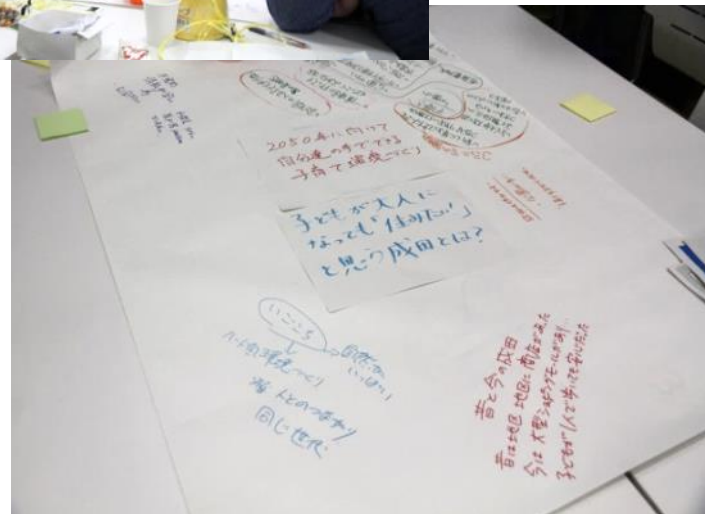
ワーク3 OST的な対話 (3)

(各グループで話し合い)

【チーム3】《子どもを持つ親として自分たちに何ができるか?》



【チーム4】《2050年に向けて自分たちの手でできる子育て環境づくり》 《子どもが大人になっても「住みたい!」と思う成田とは?》



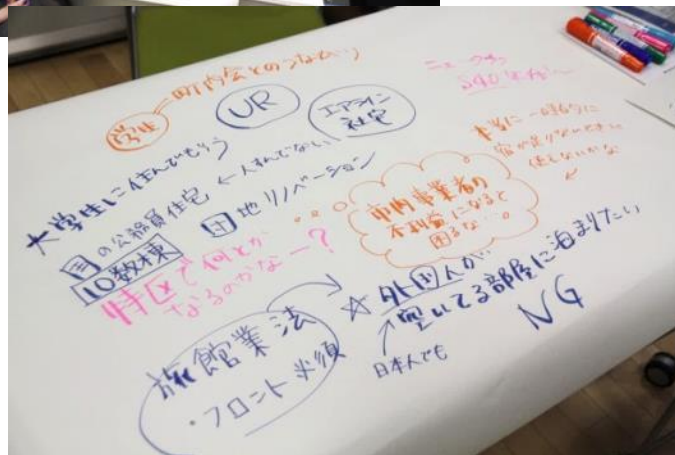
ワーク3 OST的な対話(4) (おまけ)

【職員チーム】《ニュータウンに若い人を呼び込む 空き家で安く貸すこと・活用方法
(外国人あてにショートステイは可?)》



選ばれずに残っていたテーマを使って
職員チームで話し合いをしました。

(周りでうろろ見ていると監視しているようで、
参加者の居心地があまり良くない為。)



ワーク3 OST的な対話（5） （全体で共有）

各グループ1人を残し、他のグループを見に行く。残った1人は、他のグループの人々にどんな話し合いが行われたか説明する役割。

（対話の時間が押したので、短時間で共有できる手法をとっています）



全体ふりかえり

今日まだ話していない人とグループになって感想を言い合いました。

(全体を通じてどうだったか、言葉にして人に話をする事で、各自、ワークショップで得たものを消化していきます。)



終了後・・・

スタッフだけの振り返り、感想などを共有しました

